



いつからか珈琲の美味しさに目覚め、自家焙煎にハマリ、気がつけば珈琲を追求していました。

珈琲焙煎は何度同じことをしても決して同じにはならないんですね。そこに「幽玄」さえ感じます。

一つ一つの小さな作業の中、そこに向き合う姿勢が大きく反映し、一つの「作品」が生まれるのかもしれない。

私にとって焙煎は、日々の楽しいワークであり、煙に燻された黙想の時でもあります

珈琲を育む大地を祝福し、美味しく飲んでくださる方々に感謝致します。

この一杯の珈琲に素敵なインスピレーションが授かりますように。

Roaster 中畑和幸

